

旗門員マニュアル

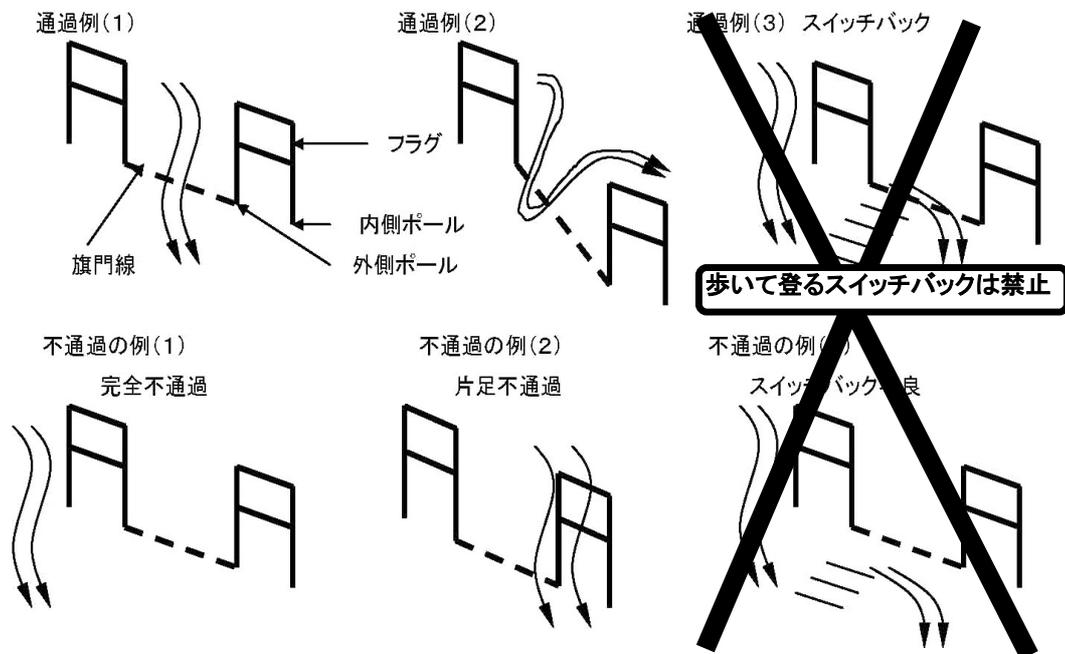
1. 旗門員の作業概要

担当する旗門(一人3旗門程度)について、下記事項を行ってください。

- ・選手の旗門の通過、不通過の確認
- ・コースの障害による選手の再走要求確認
- ・コース整備
- ・撤収作業

2. 旗門通過の判断基準

- ・大回転競技における旗門は、4本のポールで1旗門となり、赤と青が交互にセットされています。
- ・内側の2本のポールを仮想上の線でつないだラインを選手が通過したとき、旗門通過となります。
- ・選手の両スキーの先端と両足が共に通過して、旗門通過となります。
- ・片足のみの通過は旗門不通過となります。
- ・但し、選手が旗門不通過に気づき、再度ポールを通過した場合(スイッチバック*1)は旗門通過となります。
- *1 スwitchバック: 旗門不通過の場合、両足のブーツトップを結んだ線をポール間の線上に戻すだけでも通過と見なす。
- ・スノーボードについても、スキーと同様とする。



3. コースの障害による再走要求

下記のような場合、または類似したケースがあった場合、選手は審判に対し再走を要求することができます。

<コースの障害例>

- ・コース上にポール、スキー等があった場合
- ・コース上を一般スキーヤーが横切った場合
- ・選手が滑走中、前走者がコース上にいた場合
- ・ポールまたはフラッグ(ポール上部に付けている旗)がはずれ、コースが明確でない場合

4. コース整備の内容(コース係の補助)

- ・コースが荒れてきた場合、コース上に溜まった雪を横滑り・ボーゲン等で「外側へ」払い除けます。(穴を雪で埋めないこと)
- ・転倒等で、ポールが外れた場合、速やかにセットします。
- ・フラッグがはずれた場合、装着してください。なお、フラッグ下端は雪面より1m以上離れた高さとしします。
- ・旗門が倒れたりした場合、垂直に正しい位置に直して下さい。
- ・ポールが壊れた場合、コース係に報告し新しい物と交換して下さい。
- ・コース内に物等が落ちた場合には、直ちに取り除いて下さい。
- ・アナウンス等にてコース整備の依頼があった際は、速やかにコース整備を行って下さい。

また、コース整備終了のアナウンス等で直ちに作業を止め、待機位置に戻って下さい。

5. 旗門員の運営方法

旗門員は以下の要領で作業を行って下さい。

1. 旗門員の方には以下の物を入れて渡します。内容の確認して下さい。
旗門記録票、鉛筆
2. 競技が始まるまで(前走スタートまで)に担当する旗門位置にて待機して下さい。
コース外で、担当旗門の通過・不通過を確認できる位置
選手の邪魔にならないよう留意
3. 前の選手の転倒やスキー板等によるコースの障害により、選手から再走要求があった場合は、その旨を状況説明と共に「旗門記録票」に記入して下さい。その記入した旗門票を選手に手渡し、「ゴールラインを切らずに主審に再走要求をする」よう指示して下さい。
また、コース内に障害が残っていないかチェックして下さい。
(参考:再走要求する時、選手はレースを中断し、旗門員並びにフィニッシュ審判に申し出る。中断後のコース内滑走は不可。)
4. 大会役員が、旗門票の回収に行きますので、その時に「記入した旗門記録票」のみを手渡しして下さい。
(何も無いときは渡さなくて結構です。)
5. 選手の転倒によりコース上にスキー板、ストック等がはずれ、危険と判断した場合のみコース上から除けて下さい。その際、選手から棄権の合図がない限り選手のスキー板等には触らないで下さい。
(参考:手伝うとその選手が失格になります。)
6. 転倒した選手からレースを続行するか否かの意志表示がない場合は、声をかけて意志表示を促して下さい。選手が途中棄権する場合は、選手をコース外に出して下さい。
7. 歩いて登るスイッチバックは禁止です。コースアウト・転倒の位置しだいでは、失格となります。
失格者は、コース外へ出して下さい。
8. 前走者が後走者に追いつかれコースを妨害しているとき、危険と判断したら(3旗門を目安)、前走者に対し「どけ」「バンフライ」等の指示を行って下さい。なお、一度バンフライを受けた選手が、再びバンフライを掛ける(バンフライ返し)は認められません。
9. 万が一、コース上に於いて競技の続行が危険であると判断されるような事態が生じた場合は、速やかにその旨をコース係または、無線を所持している大会役員へ伝えて下さい。

6. その他留意事項

- ・ 旗門記録票は出来るだけ詳しく記入して下さい。
- ・ 旗門員が提出した記録は、選手の再走要求や失格を判断する上で重要な書類です。
十分に注意し、責任を持った記録に心掛けて下さい。
- ・ 旗門員は寒いところで作業することになります。服装(特に防寒対策)には十分に気をつけて下さい。
- ・ 気づいたことがありましたら、コース係や無線を所持している大会役員に報告して下さい。

スタート招集係マニュアル

1. スタート招集係の作業概要

スタート地点上部にて、下記事項を行ってください。

- ・スタート10分前に、選手(前走者も含む)の点呼を行ってください。
- ・出走直前の選手を順番にならべ、スタート位置へ導いてください。

2. 点呼について

- ・当日、出走者名簿を渡します。スタートの順番を再度確認してください。(名簿どおりなのか?)
- ・前走または第1グループのスタート10分前に、スタート地点上部でゼッケン番号をコールしてください。
- ・グループ(ゼッケン順)ごとに出走するので、次またはその次のグループまでコールしてください。
スタートは30秒間隔ですので、10人滑るのに5分程度が目安です。
- ・選手はヘルメットをかぶっているので、大声でコールしてください。
- ・ゼッケン番号をコールしても返事がない場合は、番号+名字でコールしてください。
- ・コールが終わった選手をスタート地点に10名程度並べてください。
選手はワックス等を行うので、あまり早く並びませんが、他選手に影響するようだったら促してください。
- ・再レースを行う選手が出てくるので、スタート審判と調整して出走させてください。(途中で割込む場合がある)

3. その他留意事項

- ・役員が不足するので、ポールの撤収作業も手伝ってください。

コース係員マニュアル

1. コース係の業務概要

下記事項を行ってください。

- ・ 旗門設置の補助
- ・ 旗門の撤収
- ・ コース整備
- ・ 旗門の保持

2. コース整備について

- ・ 高速デラパージュで、コース上の雪を排除してください。
- ・ 選手が通過するライン外側の雪を除雪してください。(コースアウト時の安全確保のため)
- ・ 掘れた箇所は、雪を入れないでください。(固まらず、かえって危険です。)
- ・ 旗門設置直後は、旗門員全員でコース整備を行います。
- ・ レース中は、2～3人のグループごとに整備に入ってください。
- ・ コース係も不足しますので、出走後の選手も整備を手伝いますので、指示してください。
- ・ 旗門がはずれた場合は、ドリル・レンチを持って行き修復作業を行います。
- ・ 旗門撤収後のコールの掘れた部分には、周りから雪を入れてください。
- ・ 気温が高く、雪がゆるむ場合は硫安をまきます。

受付係員マニュアル

1. 受付係の作業概要

下記事項を行ってください。

- ・選手の受付、選手用ビブの配布及び会場使用料の徴収(高校総体・全中参加者は2枚配布)
- ・役員の受付、役員用ビブの配布(役員の会場使用料は不要)
- ・見学者の受付、見学者用リフトホルダーの配布及び会場使用料の徴収
- ・競技、大会終了後、選手・役員用ビブ並びに見学者用リフトホルダーの回収

2. 受付について

- ・パーキングセンター事務所より長机1台を借用し既存の長机と2台にて受付所を設置します。
- ・パーキングセンター事務所より団体用リフトホルダー(100個)を借用し受付準備を行います。
- ・受付開始時間になったら選手・役員・見学者それぞれに受付を行いビブ及びリフトホルダーを配布します
- ・選手並びに見学者は会場使用料1,000円を徴収し希望者には準備してある領収証を渡します。
- ・選手、役員及び見学者は7時00分より登降リフトが利用可能ですが一般入場者は7時30分からとなります
- ・7時30分に受付を終了し会場使用料全額をパーキングセンター事務所にて精算します。
- ・ビブ回収係は、8時にはゴール付近に待機し競技終了者のビブを回収します。(再走者を除く)
- ・受付係は全員で大会終了後全役員のビブを回収します。
- ・回収した役員用ビブ、選手用ビブを纏めて車両に積み込みます。(スキーセンター横)

※パーキングセンター事務所より借用した団体用リフトホルダーを見学者用として使用します。

。

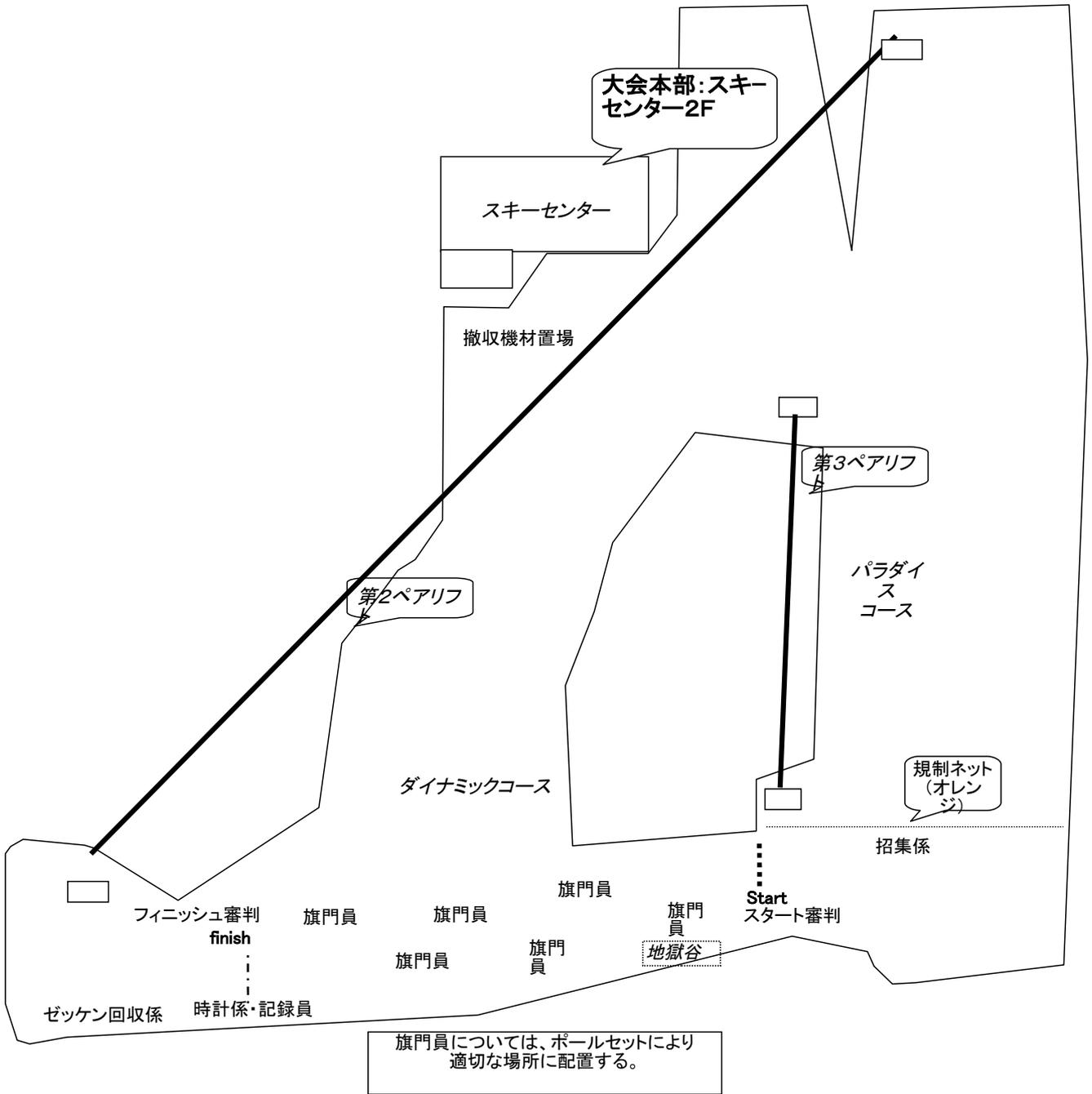
です。

大会役員の皆様へお願い

- 担当する業務については大会運営マニュアルを事前に確認の上、現場にて速やかに業務が遂行できるように準備をお願いいたします。
例年、業務内容が分からず迷っておられる方がおられるようです、担当する業務の係長や係員と十分連携をとって業務にあたってくださいようをお願いいたします。
- 大会の運営につきましては、大会本部が実施いたします。
スキー場(五ヶ瀬ハイランド)はコースの貸出のみとなりますので、ご不明な点やご連絡等ございましたらスキー場のスタッフへではなく大会本部係員へお願い致します。
- 大会の準備並びにレース中に、一般のお客様からのご質問や苦情等がございましたら各県スキー連盟名の代表として丁寧な対応をお願い致します。
その際、対処に困るような場合は係長若しくは大会本部までお伝えください。
- 喫煙については、喫煙箇所以外ではお控えください。携帯用灰皿の利用もできるだけ控えていただきますようお願いいたします。
スキーヤー全体のモラルが問われますので、**マナー向上**へのご協力をお願い致します。
- 旗門員・コース係員・旗門連絡員等をご担当される方でポールセットの際やコース整備の際は、必ず両手が使えるようにし、ストックの持参はお控えください。(業務中に限り)
- 前日や当日早朝からの準備は非常に大変ですが、大会開催中はスムーズな進行を心がけ参加選手が十分力を発揮出来ますよう役員の皆様のご協力をお願い致します。
また、大会の開催にご協力をいただきスキー場並びに一般のお客様に出来るだけご迷惑がかからないようご協力をお願い致します。
- 競技終了後は役員全員で撤収を行い、速やかにコースの開放が出来ますようご協力をお願い致します。
なお、撤収した機材等は一旦スキースクール入口横にご移動をお願い致します。

大会運営マニュアルについてご不明な点や追加事項などございましたら、九州四県スキー選手権大会事務局までご連絡をお願い致します。

五ヶ瀬スキー場レイアウト



スキー大会準備用品一覧表

物品／名称	調達先	数量	単位	備考	チェック欄
大会受付用					
参加者名簿	事務局	2枚			
大会役員名簿	〃	2枚			
見学者受付票	〃	4枚			
大会役員用ビブ	全九州より		枚		
選手用ビブ(前走用を含む)	教育部より		枚		
見学者用リフト券ホルダー	スキー場より	100個			
領収書	事務局	150枚			
受付張り紙(選手・役員・見学者)	〃	3枚			
セロテープ・ガムテープ	〃	各1個			
押しピン	〃	1箱			
ボールペン	〃	10本			
マジックペン	〃	2本			
封筒	〃	5枚			
輪ゴム	〃	適宜	本		
受付用テーブル	スキー場より	2台			
競技使用					
可倒ポール	各県連より	52本		赤 26本 青 26本	
アウトポール	スキー場より	52本		赤 26本 青 26本	
フラッグ(青・赤)	熊本、宮崎より	104枚		枚 26枚 青 26枚	
スタートシグナル	大分より	1式			
ドリル・歯	各県連より	3セット			
レンチ	各県連より	3本			
予備紐	事務局	適宜			
ガムテープ	〃	2個			
無線機	7台+6台借用	機		県連7台、学園大附高6台	
タイム計測器	-----	1式		熊本、大分より各1台	
ストップウォッチ	学園大附高より	3台		タイム計測器の予備として	
記録帳(スタートゴール用・筆記具)		7セット			
記録帳(旗門員用・筆記具)	-----	10セット			
記録表示用紙及び掲示板	-----	100枚		(出走者数分)	
用箋ばさみ	木本先生				
スコップ	スキー場より	5本			
カラスプレー	事務局	3本			
仕切網	スキー場より	※スキー場係員にて設置			
仕切網用ポール	スキー場より	※スキー場係員にて設置			
ビニールテープ(絶縁用)	事務局	1個			
テント(計測器用)	照山先生	1張			
開閉会式用					
テーブル・椅子	スキー場より	1台		スキーセンター2Fに設置	
トロフィー	-----	台		(出走クラス分)	
メダル	-----	個		(出走クラス分)	
表彰状	事務局	枚		(出走クラス分)	
ハンドマイク	蘇陽高校より	2機			
その他					
パソコン	蘇陽高校より	2台			
プリンター	蘇陽高校より	2台			
用紙	事務局	適宜	枚		
予備電池	〃	16個		9V4個, 単3電池12個	
電源用テーブルタップ	〃	1個			
セロテープ・ガムテープ	〃	各1個			
押しピン	〃	1箱			
筆ペン(筆耕用)	〃	4本			
ボールペン	〃	10本			
マジックペン	〃	2本			